

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
122AN05	統計学 B	推測統計の概念と基礎	大野 俊尚	1 年次後期	2
科目区分	基礎	キーワード	データ 推測統計 Excel		
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目	統計学 A				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	本講義の目的は、統計学 A で学んだ基礎をもとに、記述統計だけでなく、推測統計の考え方についても学ぶことです。				
到達目標	本講義の到達目標は次の 3 つとします。①統計学 A に引き続き、統計学の基本的な考えを理解できる。②データを整理し、適切に要約することができる。③データの特徴、傾向を考察でき、他者に伝えることができる。				
講義内容	現代社会に溢れるデータを適切に読み取り、理解し、伝えられるようになることを目標に、統計学の考え方を学びます。また、Excel を用いたデータ整理、要約、グラフ作成、分析ツールのスキルを学びます。本講義では事後学習をしっかり行っていただくことを推奨します。なお、講義内容は進捗状況等によって変更する場合があります。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第 1 講	オリエンテーション	本授業の説明 資料の紹介		
	第 2 講	イントロダクション	データとは? Excel での計算		
	第 3 講	統計学 A のおさらい(1)	記述統計(1)		
	第 4 講	統計学 A のおさらい(2)	記述統計(2)		
	第 5 講	統計学 A のおさらい(3)	記述統計(3)		
	第 6 講	推測統計(1)	推測統計の考え方		
	第 7 講	推測統計(2)	標本抽出		
	第 8 講	推測統計(3)	z 検定		
	第 9 講	推測統計(4)	信頼区間		
	第 10 講	推測統計(5)	t 検定		
	第 11 講	推測統計(6)	分散分析		
	第 12 講	推測統計(7)	実際のデータでの分析(1)		
	第 13 講	推測統計(8)	実際のデータでの分析(2)		
	第 14 講	まとめ(1)	学習内容の確認		
第 15 講	まとめ(2)	学習内容の確認			
指導方法	講義資料を用いて講義を行います。講義内で重要だと思える点は適宜ノートやメモを取ることをおすすめします。また、適宜 Excel による作業を行います				
事前学習	講義の最後に次回講義のキーワードを提示します。事前にそのキーワードについて調べてください。自分だけではわからない点を見つけておけると良いです。学習時間の目安は 1 時間 30 分程度です。				
事後学習	配布する資料を参照して、講義のポイントを復習してください。また、Excel 操作の復習も推奨します。学習時間の目安は 1 時間 30 分程度です。				
成績評価方法	本試験(筆記試験)50%、平常点(授業内課題の提出状況等)50%で総合的に評価します。				
課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法	授業中及び Google Classroom で行います。				
テキスト	特になし				
参考文献	佐々木 弾 監修『統計学のしくみ:イラスト&図解』西東社,2021				
実務家教員による授業		教員 経 歴			
特記事項	前期の「統計学 A」と連携しているため、双方を履修することを推奨します。				